



2025年9月12日

各 位

会 社 名 モ イ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 赤 松 洋 介
(コード番号：5031 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 本 部 長 入 山 高 光
(TEL：03-3527-1471)

よくある質問と回答 (2026年1月期第2四半期)

日頃より、当社へご関心をお持ちいただきありがとうございます。2025年9月10日(水)に開示しております2026年1月期第2四半期決算に関連して、2025年9月11日(木)に決算説明会を行いました。その際に投資家の皆さまからいただきましたご質問とその回答をまとめましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

なお、本開示は投資家の皆さまへの情報発信の強化とフェア・ディスクロージャーを目的として開示するものです。ご質問とその回答については、それらの内容を明確化することを目的として、一部内容・表現を加筆・修正しておりますことをご了承ください。

Q1. ポイント販売売上の減少が続いている状況について、減少を止めるために行っていた施策があれば教えてください。

A1. 当四半期においては、ライブ配信中に配信者が視聴者より該当アイテムをもらおうと、一定確率で当たりが発生する、といったゲーム感覚のキャンペーンや、配信者とリスナー、双方に賞品が当たるキャンペーンなど、ユーザーのエンゲージメントを高め、結果としてポイント販売売上の増加につなげることを目的としたマーケティング施策を実施しました。また、人気キャラクター「おしゅじだよ」との5回目のコラボとなるキャラクタースタンプのリリースや、サンリオキャラクターズとのコラボキャンペーンの実施を通して、新規、既存を問わず、幅広い層のユーザーの皆さまに、「ツイキャス」でのライブ配信体験を楽しんでいただくことができた、と考えています。なお、ポイント販売売上減少の原因につきましては、ポイント課金ユーザー数であるポイントPUの減少の影響が強いと認識しており、そのポイントPUの減少は、競合環境の変化とメンバーシップ課金ユーザー数であるメンバーシップPUの増加に起因していると考えています。メンバーシップPUの増加については、当社が目指す収益基盤の強化、すなわちポイント販売売上依存からの脱却が進みつつある過程の事象の一部である、と認識しておりますが、プラットフォームの規模拡大をさらに推進する上では、ポイントPUとメンバーシップPUの両方を同時に伸ばすことが必須であると考えておりますので、引き続き、「ツイキャス」の改善と効果的なマーケティング施策に注力していく予定です。

- Q2. 営業利益は第2四半期で既に年間計画を上回っている状況だが、通期の業績予想は据え置きとなっている。残りの半期はマイナスとなる非常に厳しい状況を見込んでいるという認識か。
- A2. 現在成長過程にあるメンバーシップの成長をさらに一段加速させることを主な目的として、下期にマーケティング投資を行う予定である、ということを前提として、通期業績予想の変更は行なっておりません。一方で、足元では、アプリ課金比率の変化に伴う決済手数料の減少や、データトラフィックの平準化によるインフラ費用の圧縮などを通して、利益率が改善しつつある状況もございますので、マーケティングの追加投資を行ったうえで、さらに利益を積み重ねていけるよう、下期も尽力していく所存です。なお、通期業績予想の修正が必要と判断した際には、速やかに開示を行ってまいります。
- Q3. プレミア配信の売上成長のために検討している取り組みについて教えてほしい。
- A3. 当四半期においては、プレミア配信のチケット販売等を行ってきた「公式ストア」を、「ツイキャスプレミアム」としてリニューアルオープンし、サイトデザインもより洗練されたものになっています。また、個人から事業者まで、より幅広い層のユーザーの皆さまの活動を支援したい、という考えから、リニューアルオープンに合わせて、優良出品アカウントを認定するプラチナアワード制度を導入しました。これらの施策を通して、既存出品者の継続率の向上と、新規出品者の獲得強化を推進していく予定です。
- Q4. 競合サービスとの比較において、ユーザーにツイキャスを継続して使ってもらうための方策があれば教えてほしい。
- A4. 競合サービスとの差別化については、各社のライブ配信サービスの状況を考慮すると、機能等で明確に差別化を行うことは難しくなると考えています。一方で、ユーザーの皆さまがライブ配信を行う際の心理的ハードルを下げる意味では、コミュニティの雰囲気が大きく影響する、と考えていますので、「ツイキャス」を通して、10年以上コミュニティを運営させていただいている知見を活かして、より多くのユーザーの皆さまに選んでいただけるライブ配信プラットフォームを目指していきたいと考えています。なお、当社では、ユーザーの皆さまにライブ配信プラットフォームとして選んでいただくという観点でのKPIとして、メンバーシップ開設数についても注視しており、詳細な情報については非開示のためご容赦いただければと思いますが、順当に成長している状況ではございます。
- Q5. キャッシュが積みあがってきている状況かと思うが、新しいサービスなどの投資先の予定はあるのか。あるいは配当など株主への還元について何か考えているか。
- A5. 新しいサービス、事業に係る投資計画、また、配当実施の可能性や時期などを含めた株主還元に関する計画については、現時点で、回答させていただける具体的な内容はございませんが、公開できる内容が確定次第、速やかに開示させていただく予定です。

以 上